

激動の年を迎えて

特別顧問 医師 黒岩 明彦



2017.1.1 に竹丘病院に常勤医師として入職した黒岩明彦です。

専門は脳神経外科で、他に認知症専門医、頭痛専門医などの資格があります。

てんかんや慢性疼痛も専門領域です。急性期病院での手術などは5年前に卒業して、その後は慢性期治療に従事しています。

外見は若く見られるのですが、実は今年から年金受給年齢です。郷ひろみ、明石家さんまと同期ですね。自宅は杉並区で、ずっと東京育ちです。竹丘病院へは自宅から車で40-50分と近くて大変うれしいです。以前、府中病院・公立昭和病院に勤務していたので多摩地区の土地勘はあります。

趣味は睡眠です。数十年におよぶ豊富な経験が自慢です。健康に良いので皆さんにもお勧めです。ただし、早寝早起き必須です。毎日22時就寝です。

最近ハマっているのは、糖質制限を飛びこえたプチ断食療法です。1日1食でも全然大丈夫ですよ。これもお勧めです。現代の病気のかなりの部分は栄養の過剰摂取によってもたらされているからです。寿命も延びるらしいです。

日本は少子高齢化で、介護療養が必要な患者様は増えつづけているにもかかわらず、労働力は減る一方という前途多難な状況です。さまざまな課題は技術革新によって解決してきたというのが人類の歴史の示すところで、今後期待できるのは人工知能の発展なのですが、こと介護療養に関してはこの恩恵を受ける部分がなく、正直言って、いい解決策は見当たらないです。しかも2017年は世界も激動の年で今後日本のみならず世界がどうなるのか誰にも分からないという不安いっぱい時代になってしまいました。

竹丘病院の患者様は大部分が脳疾患の後遺症なので、お役に立てる部分があると思いますが、療養病院は多くの職員の努力によってこそ成り立っているのです、むしろ私が皆さまのお力添えになれば幸いです。